

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成 31 年 2 月 13 日

事業所名：ワクワクひろば

職員数 7 回答数 7 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		子ども一人あたり 5.89 m ² の床面積を確保クールダウンと個別指導の部屋も設けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			児童指導員、保育士等を常時 5 人以上指導スタッフとして配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		エレベーターの完備、玄関スペースのフラット化など配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	3		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	1	評価表は今後活用予定
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	2	3	ホームページで公開予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	3	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			研修委員会を設けて年 2 回の内部研修を行なっている。外部研修にも随時参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3		アセスメント、個別支援計画会議を経て、適切に計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	1	今後適したアセスメントツールを検討していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			ミーティングの時間を多く割くことが出来ず、全員一緒に立案することが難しい。打ち合わせで情報の共有を徹底していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			最近の利用児の様子を加味しながら、活動を立案している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	1	毎週土曜日だけの開所なので、平日・長期休暇は想定していない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			一人一人のニーズに合わせて、計画を製作している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			支援開始前に必ず打ち合わせをしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			毎回 支援終了時に打ち合わせを行ない、一人一人担当者が気づいたこと、保護者からの話を報告し合い、情報を共有するようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			適切に行なっている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2		適切に行なっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	1		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			主任に参加してもらっている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			必要に応じてケース検討会議、連携会議を行なっている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5		医療ケアが必要な子どもの受け入れは、現在相談及び契約はない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	1	今後こちらから連絡して情報共有等に努めていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	2	今後こちらから連絡して情報の共有に努めていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	1	センター主催の研修に職員を派遣するなど、積極的に行なっている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	4	SST のプログラムに添った療育を行なっているため、交流や活動を設定して行なうことは難しい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	1	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			支援終了後、毎回担当者が保護者に様子を伝えると共に、保護者から子どもの状況について話を聞いている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			年 2 回ペアレントトレーニングワークショップを行ない、保護者に参加を呼びかけている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		契約前に説明しており、変更時には保護者会と文書で伝えている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			口頭や電話での相談に職員が応じ、必要に応じて臨床心理士による個別相談につなげることもある。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			年 3 回保護者会を設けている。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			重要事項説明書に記載しており、苦情があった場合はすぐに情報を共有し、解決、改善に努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		年3回お便りを発行している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7			研修等も行い十分配慮している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			その子、保護者に合わせた配慮を行なっている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	3	今後検討していく
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1	1	法人全体で各種マニュアルを策定しているが、職員、保護者会共に周知には至っていない。保護者会、職員会議等で周知していく
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		定期的に訓練を行なっている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		内部研修を行ない虐待防止に努めている。今後県主催の虐待防止・権利擁護研修にも職員を派遣していきたい。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	4	1	現在身体拘束が必要な利用児はいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		保護者からの情報を基に対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	1	事例について職員間で情報共有を行なった後、ヒヤリハット専用の書式に記入し、いつでも閲覧可能な状態にしている。